

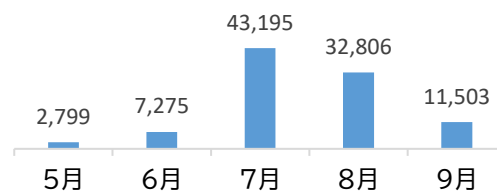
熱中症が増えています！

令和6年度5～9月の 熱中症救急搬送人数は97,578人！

これは、平成20年の調査開始以来、最も多い搬送人員であり、令和5年度の同時期と比べると6,111人増となりました。

熱中症は、気温や湿度が高かったり、急に暑くなったりすると、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温の調節がうまくできなくなることなどが原因で起こります。

熱中症によって
救急車で運ばれた人数



出典：令和6年 消防庁報道資料

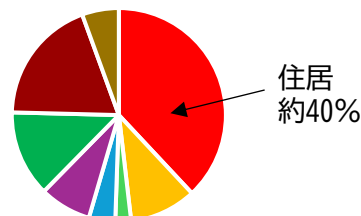
発生場所の4割が住居！

室内でも安心できない熱中症



夜間に冷房を使用しない事で、屋外の気温が下がっても、室内の温度が高い状態が続き、就寝中に熱中症になる場合があります。

発生場所別の救急車で運ばれた割合



出典：令和6年 消防庁報道資料

熱中症予防のために

熱中症警戒アラートと熱中症特別警戒アラートを活用しましょう！

「熱中症警戒アラート」は、熱中症の危険性がきわめて高くなると予測される場合に発表され、県内のいずれかの観測地点で、暑さ指数※が33以上になると予測される前日夕方と当日早朝に発表されます。

※気温、湿度、日射・輻射を基に算出され、熱中症の危険性を表す指標

「熱中症特別警戒アラート」は、広域での過去に例のない危険な暑さ等により、熱中症救急搬送者数の大量発生を招き、医療の提供に支障が生じるようなおそれがある場合に発表されます。具体的には、県内の全ての観測地点において暑さ指数※が35以上となる時などが該当します。

●熱中症警戒アラート等の情報を環境省のLINEやメール配信サービスで入手！



熱中症警戒アラートが発表されると、メールでお知らせ



ご自身で設定した暑さ指数が予測される場合にLINEでお知らせ



ご自身で設定した暑さ指数が予測される場合にメールでお知らせ

●「春日井市安全安心情報ネットワーク」でも熱中症警戒アラート等を配信します。



「気象等情報」の配信カテゴリを登録してください。

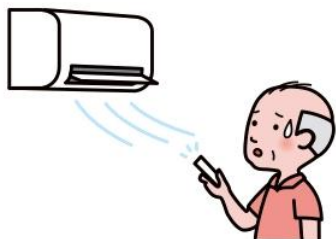
裏面もご覧ください

こうれいしゃ
高齢者と子どもは、特に注意が必要です！

高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対する体の調節機能も低下しているので、注意が必要です。子どもは体温の調節機能がまだ十分に発達していないので気を配る必要があります。

熱中症予防のために

エアコン等で
温度をこまめに調節



しゃこう
遮光カーテン・すだれの
利用、打ち水の実施



がいしゅつ ひがさ
外出時には日傘の使用、
ぼうし ちゃくよう
帽子の着用



天気の良い日は
ひかげ
日陰の利用、こまめな休憩



きゅうしつ そっかん
吸湿性・速乾性のある
つうき いふく
通気性のよい衣服を着用



ほれい
保冷剤、氷、冷たいタオル
などで、からだを冷やす



「熱中症警戒アラート」発表時には、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう

こまめに水分を補給しましょう

室内でも、外出時でも、
のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分を補給しましょう
(汗をかくときはあわせて適度な塩分補給も)



熱中症かな？ と思ったら・・・

- 👉 涼しい場所や日かげのある場所へ移動し、衣服をゆるめて安静にする
- 👉 エアコンをつけ、扇風機やうちわなどで風をあて、体を冷やす
- 👉 氷や保冷材を使い、首の周り・脇の下・太ももの付け根などの太い血管がある部分を冷やす
- 👉 飲めるようであれば、水分をこまめに飲む

はんのう きゅうきゅうしゃ
呼びかけに反応がない場合は、救急車を呼ぶ！



熱中症は誰もが罹る危険があり、油断は大敵です。暑くなる前から無理のない適度な運動を取り入れたり、日頃から十分な休養・睡眠を心掛け、暑さに備えていきましょう。

(「熱中症予防のために」(厚生労働省) (https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/pamph.html) をもとに作成)

市ホームページ

